

## 校長メッセージ「誠実」

20200525

皆さんこんにちは。長い間、休校となってしまいました。その間、皆さんは本当によく頑張ったと思います。誰もが経験したことのない出来事だから、どうしたら良いのかわからず、ストレスもたまったと思います。でも、本当にしっかり耐えたと感じています。大変でしたね。お疲れでした。

新学期を始めるにあたって、私たちは、いろんなことに注意して過ごさなくてはなりません。しばらくの間、私たちは、以前のような生活には戻れません。ですから、これからの生活方法の指針として、「サビエル高等学校『新しい生活様式』」をつくりました。よく読んで、実行してください。お願いします。

これからお話しするのは、こうしたルールを守るために必要な根本的な「心の在り方」についてです。しっかり聞いてください。

コロナと戦うために、私たち誰もがもっていたいもの、あえて「武器」と言わせてもらいますが、それは何でしょうか。その答えを、僕は、コロナの最前線にいる医療関係者の姿から教えてもらいました。

彼らが、自身の恐怖や疲労に耐えながらも、感染者の苦しみに寄り添い、最善を尽くし、過酷なものに耐え、それでもなお「愛」を失わないで働いている（戦っている）、そんな姿を私たちは、直接あるいはマスコミを通して、今も、毎日見ることができます。そこにあるのは何でしょうか。それは、「誠実さ」ではないかと、僕は思いました。コロナと戦うのに必要なたくさんの手段の中で、最も大切なもの、最も強力な武器、それは、様々な場面での「誠実さ」だということを、彼らは教えてくれます。

困難に立ち向かう時に必要な「最も大切なもの」は何か、ということを知っていることは、私たちが生きていくうえで、とても大切な事です。皆さんには、今のコロナのような不測の事態の中で、自分や周りの人たちを支える力は、「『誠実』に振舞うことである」ということを知ってほしいと思います。

医療は感染者を救ってくれますが、感染拡大を食い止めることができるのは、私たちの「誠実」な行動にかかっています。私たちの「誠実さ」こそが、この事態を終息することができます。

命より大切なものはありません。感染拡大を防止するために、いろんなことを自粛しようとする私たちの「誠実」な努力は、何にも増して価値があります。

終息の兆しが見えない中で、ごく普通の日常生活が奪われているとき、私たちが、いつもと同じように「普通であり続ける」ためには、とても大きな努力が必要です。私たちの内面の努力は、外からは見えません。淡々とした行いをするためには、実は、私たちの心の中に、「深い人間性」が宿っていなければなりません。

「私たち人間は誰しも、心に軽蔑すべき醜いものをもっているけれど、それ以上に、多くの賞賛すべきものもっている」ということを、今回のコロナから学びたいと思います。

※ 例えば毎日の健康チェック。「忘れたから適当に書いておこう」と形だけを整えるのではなくではなく、「忘れたとはっきり言って、そこできちんとチェックする」